

Syllabus Id	syl.-082533
Subject Id	sub-082-007000
更新履歴	080313
授業科目名	英語（選択：英語） English (English)
担当教員名	北條 健 (Hojou Ken)
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	H20 通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	D5教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

基礎的な英語力で理解でき、国際問題を扱っている教科書を使用する。諸外国の事情を理解しながらさらに英語がわかり、実力がつくように工夫していく。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校1・2年生修了程度の基礎的な英語力。

	重み	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		

授業目標

1. 英文の基本的な構造を再確認し、さらに深く理解し、英文読解力を高める。
2. 世界中からのニュース、イベント等を読み進め、異なる話題が互いに密接な関連を持っていることに気づかせ、自分の身の周りの世界をより知るきっかけになるようにすると共に英語力をたかめていく。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メ イ ン テ ー マ	サブ テ ー マ	参観
第1回	前期オリエンテーション、自己紹介	授業概要、目標、スケジュール、評価方法とその基準などの説明	
第2回	1課 People-	英米のプロスポーツ事情	
第3回	2課 The Internet	諸外国の広告事情	
第4回	3課 Media	諸外国の双方向メディア	
第5回	4課 Technology	諸外国の Telemedicine	
第6回	5課 Medicine	諸外国の医療事情	
第7回	6課 Poverty	諸外国の貧困事情	
第8回	前期中間試験		
第9回	7課 ACTIVITY	The Grameen 銀行	
第10回	8課 Environment	温暖化の影響	
第11回	9課 RELATIONS	日米関係	
第12回	10課 CONFLICT	経済摩擦	
第13回	11課 Society	諸外国の郵便制度	
第14回	12課 Science and language	諸外国の科学事情	
第15回	前期末試験		×

第16回	後期オリエンテーション	授業概要、目標、スケジュール、評価方法とその基準などの説明	
第17回	1課 The Earth and Mankind	人間は地球を滅ぼすか	
第18回	2課 Incinerators and Disrupters	環境ホルモンの脅威	
第19回	3課 Agenda for a New Century	人類史の課題	
第20回	4課 The Present –day Military Issues	平和と対人地雷	
第21回	5課 Euro;Symbol of European Unification	欧州統一の象徴ユーロ	
第22回	6課 Cloning:What is happening?	クローン技術と生命倫理	
第23回	7課 Active Euthanasia or Other Suicide	積極的安楽死への賛否	
第24回	後期中間試験		
第25回	8課 American Begins World Aid Walk	エイズ防止キャンペーン	
第26回	9課 Are Girls Biologically Poor in Math?	理数科目における男女差	
第27回	10課 Internet and Youth Crime	インターネットと青少年犯罪	
第28回	11課 Use of Child Labor	途上国の児童問題	
第29回	12課 Sports and Commercialism	スポーツと商業主義	
第30回	後期末試験		×
課題とオフィスアワー			
授業中に指示する。			
評価方法と基準			
評価方法			
定期試験および小テストは、テキスト・配布プリントから主に出題する。授業中の活動・発表、課題提出、授業態度、学習意欲も評価する。			
評価基準			
定期試験・小テストの成績 - 50～60%、平常点(活動・発表、課題提出、授業意欲) - 40～50%、学習到達達成度自己評価 - 若干。			
教科書等	「NEWSBREAKS for STANDARD English learners 2007」 Kevin Glenz エミール出版 前期に使用 「The Real World Today」 塩川 春彦 桐原書店 後期に使用		
先修科目	総合英語、英語W、英語C		
関連サイトのURL	http://nact-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/ ALC NetAcademy 2		
授業アンケートへの対応	見やすい板書を心がける。授業の目標を明確にする。状況(クラスの能力水準、学習意欲等)によって教材も進度も適宜変更する。		
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		